

## ○課題整理のポイント

- ・「適正規模の基準」と「必要な学級数の目安」に合致しているか。
- ・教室数は不足していないか。
- ・敷地面積は十分か。
- ・通学距離は適当か。
- ・個々の学校に応じたその他の課題

## ○木更津市における適正規模等の考え方

	適正規模の基準 (望ましい学級数)	必要な学級数の目安
小学校	12～18学級 (1学年2～3学級)	6学級以上 (1学年1学級以上)
中学校	9～18学級 (1学年3～6学級)	6学級以上 (1学年2学級以上)

## ○学校の適正配置 (公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する 手引きより引用〔平成27年1月27日〕)

	通学距離	通学時間 (※2)
小学校	4 km以内 (※1)	「おおむね1時間以内」を 一応の目安 (※3)
中学校	6 km以内 (※1)	

※1 徒歩や自転車による通学距離のおおよその目安として、妥当であると考えられる。

※2 適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つということを前提

※3 各市町村において、地域の実情や児童生徒の実態に応じて1時間以上や1時間以内に設定することの適否も含めた判断を行うことが適当であると考えられる。